

建材物流コードの実証実験開始

住活協

人為ミスや作業時間を比較検討

全国住宅産業地域活性化協議会（住活協、東京都、加藤秀司代表理事）の住宅産業IT部会（吉田宏之部会長）は、大阪府と山口県で建材流通事業者の荷受け業務、在庫管理などを効率化するための実証実験を開始した。入荷する商品や伝票に統一基準の建材物流コード（QRコード）を添付。その入荷データをハンディターミナルで検品し、人為的な間違いの減少や作業時間の短縮が可能かなどを、1カ月間を対象に、現状の目視方式での検品と比較検討する。（2019年9月5日付一面に関連記事）。

大阪府では、15日か、材メーカーの永大産業ら建材物流コード導入（大阪市、枝園統博社長）の実証実験を開始。住活協メンバーでスタートアップ会員のナカザワ建販（大阪府和泉市、中澤秀紀社長）と、賛助会員で参加建



発行所 日刊木材新聞社
〒135-0023 東京都江東区
平野3-2-6木場パークビル3階
編集・営業 ☎03-3820-3500
FAX03-3820-3519
総務・販売 ☎03-3820-3511
FAX03-3820-3518
https://jfpj.jp/
eメール info@n-mokuzai.com
購読料 1ヵ月 6,200円
©日刊木材新聞社 2020
本紙の無断複製(コピー・PDF)配布
は、著作権の侵害にあたり違法です。

創刊75年
木で築く新たな時代
日本木材ウィアフリー
Japan Lumber Reports
電子版



15日からナカザワ建販本社で行われている建材物流コードの実証実験

の玄関収納など35個の商品と入荷伝票にQRコードが添付され、ナ

カザワ建販の本社倉庫で、ハンディターミナルを使い、検品作業が素早く、正確に行われた。全量検品を目視で行った場合と比較し、作業時間が約3分の1に短縮されるなど、検品作業員の作業効率が大幅に向上した。人の目で従来

の目で行う従来の検品作業は、特に文字が読み取りづらく、生産性向上につながるなど、優位性が高い。

集成材

お問い合わせ下さい

TSC 株式会社 ティ・エス・シー

〒292-0838 千葉県木更津市潮浜2-1-53
TEL/0438-37-0206 FAX/0438-37-2349
ホームページ <http://www.syusei-tsc.com>

にくい場合や入荷量が多くなると処理が煩雑になってくる。しかし、QRコードのデータを突き合わせる作業では人為的な間違いが発生しにくく、作業時

ボードの直貼

2mm厚単板
ウッドベッカー90

2mm・3mm厚単板
コンタクト文教

JAS認定商品

ボード株式会社

本社/東京都新宿区新宿5-5-3
TEL.03-3352-7152 FAX.03-3352-1958
<http://www.board.co.jp>

永大産業は18年9月こと。QRコードを使って、物流のデータ連携をつくっていくように協力して頑張りたい」と話す。

一方、山口県では住活協メンバーでスタートアップ会員の三和（山口市、松下誠社長）と、賛助会員で参加建材メーカーのウッドワン（広島県廿日市市、中本祐昌社長）が同様の実証実験を、16日に三和の徳山営業所（山口県周南市）、17日には三和本社（山口市）で開始している。

住活協では、今回の実証実験の結果を踏まえ、システムの改善点等を修正した後、オンライン化して広く建材流通で使用できるようにしていく考えだ。

主な記事

- ▽2面 新着インタビュー 日本政策金融公庫 林水産事業本部長 新井毅氏
- ▽3面 集成材商況 虫害やストに懸念
- ▽4・5面 国産材製品全国商況 構造は「一服、羽柄は堅調
- ▽7面 茨城木材相互市場 県産材大量集荷、満遍なび販売